

# 地域史料通信

# 第5号

2013. 10

尾州御領美濃国安八郡墨俣村金三郎と申者、并女房・男子三人・女子三人、都合八人共、東本願寺宗当寺檀那紛無御座候。若切支丹宗門之訴人有之。御僉議之節者、拙僧速可申明候、為後日仍一札如件。

元治二乙丑年二月  
美濃国安八郡大垣  
善念寺大璉(印)

美濃国安八郡南寺内村御名主  
新五右衛門殿  
同国同郡同村同断  
嘉兵衛殿  
同国同郡同村五人組頭  
音八殿



(岐阜大学教育学部郷土博物館所蔵 美濃国安八郡浅草東村大橋家文書ほ120、以下、特に所蔵を明記していない史料は、教育学部郷土博物館所蔵のもので、教育学部郷土博物館は「郷土博物館」と記載します)

上の古文書は、元治2年(1865)に墨俣村(現、大垣市内)の金三郎一家8人が引越す時に作られた書類の一つです。彼らがキリシタンでない旨を証明するため、檀那寺の善念寺から転居先の南寺内村(現、大垣市内)の村役人宛てに出されました。南寺内村は大垣城下の南に接し、文政期(1818~1830)には南寺内村を含む大垣城下に近い村々への転入者が増えて問題となったようです。何が問題点とされていたのでしょうか？

詳しくは4ページから

## 目次

地域資料・情報センター活動報告—長良川河口堰裁判資料など—	2
岐阜日日新聞・濃飛日報の新聞号外—美濃国本巣郡長屋村長屋家文書の整理から—	3
大垣城下周縁部への人の移動—美濃国安八郡南寺内村を中心に—	4
交流コラム／編集後記	8

## 地域資料・情報センター活動報告—長良川河口堰裁判資料など—

### 所蔵する長良川河口堰関係資料

地域資料・情報センターでは、教育学部郷土博物館の史料整理などの業務を行う一方で、長良川河口堰建設をめぐる、行政側・市民側双方の資料を相当数所蔵し、その整理にあたっています。

1963年に始まる「木曾三川河口資源調査団」の資料、1973年から始まる長良川河口堰建設差止裁判（「旧訴」）の裁判資料（裁判調書・鑑定書・証拠書類）、1980年からの同裁判（「新訴」）に関する書類、これらは、原告団にいらした村瀬惣一氏よりご寄贈いただきました。また一昨年には、京都大学の川那部浩哉名誉教授より、新訴当時の新聞資料等のご提供を受けました。その他多くの関係者の方より、資料をご寄贈いただいております。

資料をみますと、古いものは青焼きや、感熱紙のFAXなども含まれ、劣化して読みにくくなっていくものが多々あります。保存や閲覧の便のため、まずは電子化することが急務であると考えております。

今年、旧訴の裁判記録20冊以上を整理し、すべてPDFとして電子化しました。そのなかには、さまざまな立場からの証言が記載されています。



小出良熙氏提供の裁判資料

まだまだ緒に就いたばかりですが、今後とも、河口堰完成に至るまでの実情を物語る資料の整理を続けてまいります。また、多くの方々のご利用をお待ちしております。

（担当：古田 万紀）

河口堰関係資料で整理済みのものは、随時、岐阜大学 地域科学部 地域資料・情報センターのホームページ (<http://rilc.forest.gifu-u.ac.jp/>) で公開しております。資料そのものや、資料の掲載に関する問い合わせは、下記にお願い致します。

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1  
岐阜大学地域科学部 地域資料・情報センター  
TEL (058)293-3323



村瀬惣一氏寄贈の河口堰関係資料（一部）

地域資料・情報センターの刊行物

- 『岐阜大学教育学部郷土博物館収蔵史料目録 (1) 美濃国方県郡河渡村 村木家文書目録』
- 『岐阜大学教育学部郷土博物館収蔵史料目録 (2) 美濃国方県郡木田村 山田家文書目録』
- 『岐阜大学教育学部郷土博物館収蔵史料目録 (3) 美濃国武儀郡下有知村 山田家文書目録』
- 『岐阜大学教育学部郷土博物館収蔵史料目録 (4) 未報告諸資料・博物館関係資料目録』
- 『岐阜大学教育学部郷土博物館収蔵史料目録 (5) 美濃国安八郡浅草東村大橋家文書・美濃国石津郡乙坂村文書目録』
- 『岐阜大学教育学部郷土博物館収蔵史料目録別冊 (1) 岐阜大学教育学部郷土博物館収蔵 村絵図』
- 『岐阜大学地域科学部地域資料・情報センター 地域史料通信』 創刊号～第5号

※冊子での閲覧 … 岐阜県図書館、県内・近県の主要公立図書館など、全国の大学の日本史研究室など  
 ※ネットでの閲覧 … 岐阜大学機関リポジトリ (<http://repository.lib.gifu-u.ac.jp/>)、岐阜大学図書館からリンクしています  
 岐阜大学地域資料・情報センター HP (<http://rilc.forest.gifu-u.ac.jp/>)

岐阜日日新聞・濃飛日報の新聞号外 —美濃国本巢郡長屋村長屋家文書の整理から—

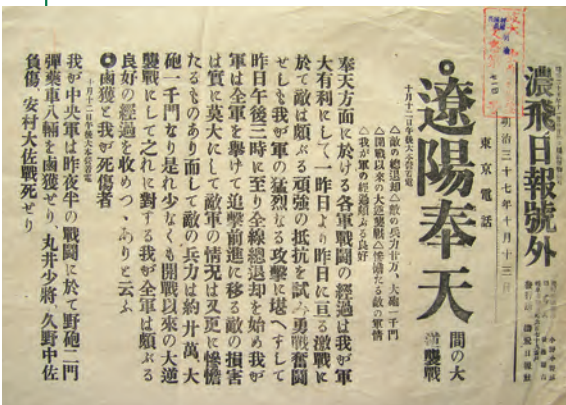
地域資料・情報センターでは、毎年、郷土博物館所蔵の史料整理を行っており、2013年度は長屋村（現、本巣市）長屋家文書の整理に取りかかっています。その中で岐阜日日新聞（明治14年創刊）・濃飛日報（明治21年創刊）といった地方新聞の号外が出てきました（表参照）。近代以降、特に戦争に関する号外が発行されることが多く、日露戦争時には各新聞社が号外を頻発したと言われています。こういった地方新聞の号外が残ることは少なく、貴重なものと思われま。現在は整理途中ですが、目録の刊行に向かってさらに作業を進めていきたいと思ひます。

岐阜日日新聞の号外 発行：岐阜日日新聞社（岐阜市今小町二百九番戸）

	年月日	号数	備考〔見出し、大きさ (cm)〕	史料番号
1	明治37年5月1日 (1904)	号外 (第一)	見出し「九連城攻撃」「我海軍の安東県攻撃」、23.4 × 39.0	明治702
2	明治37年5月1日	号外 (第二)	見出し「鴨緑江附近の戦闘」「又復旅順砲撃」、30.0 × 39.0	明治703
3	明治37年5月1日	号外 (第三)	見出し「我軍九連城を占領す」「我艦隊浦港に現はる」「英国新聞紙の賞讃」、13.4 × 37.0	明治704
4	明治37年5月6日	号外 (第一)	見出し「旅順閉塞公報」「敵兵の死傷増加」「露国の大動揺」など、18.4 × 26.6	明治705
5	明治37年5月8日	号外 (第三)	見出し「優詔下る」「旅順閉塞隊の死傷生還者別」「旅順方面の情報」など、19.6 × 38.0	明治706
6	明治37年5月22日	号外 (第一)	見出し「大孤山上陸軍の戦報」「旅順強行偵察の別報」、19.0 × 26.0	明治707
7	明治37年10月16日	号外	見出し「奉天前面追撃続報」「奉天前面激戦死傷者」「城敵来襲の敵兵」など、27.6 × 33.4	明治708
8	明治38年6月11日 (1905)	号外 (第一)	見出し「媾和に就て米国の照会と我政府の回答」、19.0 × 29.7	明治709
9	明治38年10月17日	号外	見出し「大詔煥発」「凱旋軍隊に対する陸相の訓示」「内相の訓令」、18.4 × 40.7	明治710
10	明治38年11月24日	号外	見出し「満洲撤兵手続及鉄道線路引渡議定書」「大使遭難続聞」「遭難後の大使」など、28.0 × 34.6	明治711

濃飛日報の号外 発行：濃飛日報社（岐阜市朝日町六百七十九番戸）

	年月日	号数	備考〔見出し、大きさ (cm)〕	史料番号
11	明治37年6月20日 (1904)	号外	見出し「上村艦隊報告」「黒鳩公南下の説」、19.6 × 27.3	明治712
12	明治37年6月29日	号外	見出し「旅順攻撃」「遼陽方面の戦情」、19.8 × 13.8	明治713
13	明治37年10月13日	号外	見出し「遼陽奉天間の大逆襲戦」「鹵獲と我が死傷者」、18.2 × 26.2	明治714
14	明治38年3月6日 (1905)	号外	見出し「沙河方面の戦闘」「愈々大活動為さん」「露都人民の反昂」、18.5 × 24.2	明治715



明治37年(1904)10月13日  
 濃飛日報号外(長屋家文書 明治714)

## 大垣城下周縁部への人の移動—美濃国安八郡南寺内村を中心に—

### 転居時に作成される書類

現在、私たちが転居するとき、住民票を移す手続きをします。江戸時代の転居に必要な書類はどのようなものだったのでしょうか。

江戸時代の人の把握は、基本的に村や町の管理に属しており、村役人や町役人によって実務が担われました。ただしそれは、寺請制度<sup>てらうけ</sup>—個々人がキリシタンなど、禁止された宗教の信者ではないことを、檀那寺<sup>だんなでら</sup>の住職が保証する制度—と組み合わされていました。そのために、書類作成に檀那寺の住職が関与する局面があったのです。

転居などの理由で人が移動する際、今まで住んでいた村の村役人から転居先の村役人宛てに「送り一札」「古郷送証文」などと呼ばれる書類が発行されました。表紙の金三郎一家の場合も、「古郷送証文」が、墨俣村<sup>すのまた</sup>（尾張藩領）の村役人から南寺内村<sup>みなみでら</sup>（大垣藩領）の村役人宛てに出されました。もう一通、一家の檀那寺、善念寺の

住職から南寺内村に、「宗旨手形<sup>しゅうしてがた</sup>」と呼ばれる書類が出されました（表紙の古文書）。こちらは一家のメンバーがキリシタンでない旨を証明する書類です。

南寺内村では受け取った2通の書類を添え、代官役所宛てに、転入の許可を求める願書を提出しました（添付書類は返却）。その願いは代官から上司の郡奉行へ報告され、郡奉行の許可があり、一家は無事転居が出来たと思われます。

### 南寺内村文書に見える転入事例

2012年度に整理をした郷土博物館所蔵の美濃国安八郡浅草東村大橋家文書には、安八郡南寺内村に関係する文書（以後、南寺内村文書と表記）が含まれていました。その多くは、ここで紹介するような人の移動に関わる古文書でした。南寺内村では転居や懸り人（かかりゆうど＝居候）になることによるものが多くみられます。そのデータ（総計76件）を一覧表にまとめました（pp.6～7）。表からは、大垣藩家臣の家来<sup>あし</sup>や足



大垣城下井二里四方近郷之図 絵図の上部が竹島町、中央部が田町〈「善教寺」の近辺〉で、これらは城下に含まれる。右下の「南寺内村」「寺内之内」の記載のあるあたりが南寺内村。これら薄い赤色の部分が大垣領村々で、郡奉行の管轄、享保ころ。

大垣市 江馬齊一郎氏所蔵

がる、武家奉公人（黄色で表記）や、大垣城下各町の貸家などの住人ら（黄緑色で表記）、さらには周辺の村々の百姓ら（無地で表記）が南寺内村に転居してきたことが確認できます（地図参照）。転居先として、大垣藩士や南寺内村の百姓・それ以外の村の百姓たちの控（史料では「引得」と記載）屋敷の空き家という事例が数多く記載されています。その空き家を借りたり、買ったりにしているのです（『大垣市史 通史編 自然・原始～近世』 pp.837～840 参照、2013年）。

### 文政期に出た触～『座右秘鑑』より～

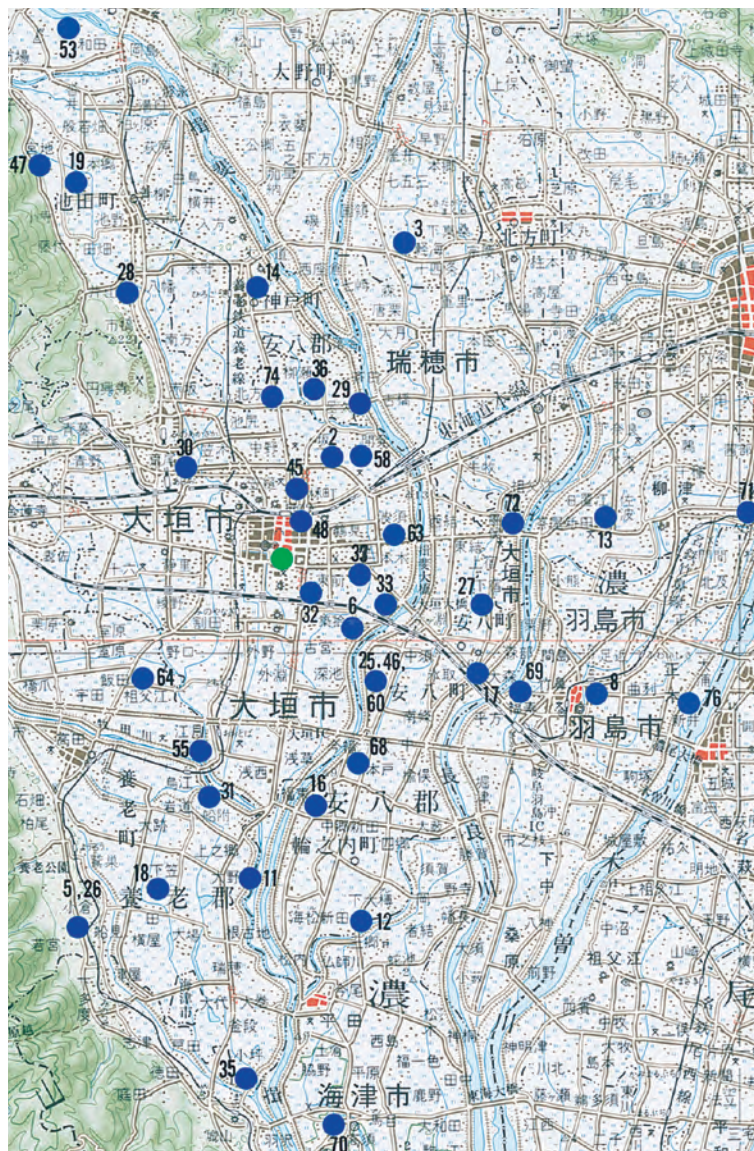
『大垣市史 上巻（通史）』（p.330、1930年）に

よれば、足軽の居住地は「田町・室・高橋・寺内・切石」でした。そのうち田町は、元は南寺内村の一部でした。田町・南寺内村あたりを享保ごろ（年代）の絵図で見ると、大垣藩士の下屋敷や足軽・中間などの屋敷地が確認できます。大垣藩の地方支配に関する触書などを集めた『座右秘鑑』（増田補親編）には、次のような記述があります（『尾州藩古義・大垣藩座右秘鑑』一信社出版部、1940年、pp.448～449、一部を意訳）。

大垣城下に近い村々、特に町場の様相を呈した場所への引越し願いが近年多く、不法なことが次々発生するので、お咎めなどを命じた。毎度、帳外者（移動の手続きを行わず、村の住民台帳として機能する「宗門人別改帳」に記載がない者）や、浪人であったり、あるいは親類などと申し立てて長逗留する者などに対してお触れを出しているが、効果が少ない。南寺内村・中久瀬川では、「帳外者」までも置くようになったので、文政13年（1830）に村への罰金を命じた。

南寺内村文書にも、上記のことが窺える史料があります。足軽の国枝太兵衛の母は、転入手続きもせず物置小屋を借りて住んでいました。そこにたまたま盗賊が押し入ったことから「帳外者」だということが発覚

してしまっただけです。これも文政13年の出来事ですので、このような事件がきっかけとなり、南寺内村へ罰金が命じられたと思われます。次ページの表でも文政13年以降は、大垣藩士の家臣や足軽、中間（武家奉公人）の転入記事はあるものの、百姓の転入事例は、嘉永7年（1854）まで見えなくなります。ただし、この後も帳外者が発覚した事例が、南寺内村文書中に散見されます。大垣城下に隣接する南寺内村は、実態としては、足軽の屋敷地を補完する場、そして大垣城下で働く人々が滞留する場としての性格を持っていたのではないのでしょうか。



南寺内村への転入者の前住地

※南寺内村は●の場所。南寺内村への転入者（6・7ページの表）のうち、7・

34番と大垣城下各町（黄緑色で表記）以外は●で明記。

※国土地理院発行20万分の1地勢図（岐阜・名古屋の一部を合成）を使用

## 南寺内村への転入者

	年・月	西暦	前住地〔所在地〕(支配)	転入者	転入先・転入理由など	資料番号
1	明和 6・12	1769	大垣竹島町分善教寺借屋	市右衛門・女房・子3人都合5人	古宮村周右衛門引得屋敷借請け家作、引越し請作百姓つかまつりたく	ほ51
2	安永 5・12	1776	安八郡桑田村	庄兵衛・妹・子3人都合5人	市郎兵衛引得屋敷家作し引越し	ほ123
3	天明元・5	1781	本巢郡軽海村〔本巢市〕(大垣藩領所)	治助	藤治郎引得屋敷借請け家作、引越し請作百姓つかまつりたく	ほ52
4	寛政12・8	1800	@	中嶋浅右衛門	山田安碩引得屋敷借請け屋作、引越し住居	ほ177
5	文化 5・8	1808	多芸郡小倉村〔養老町〕(幕領)	孫右衛門・女房都合2人	山田安碩扣屋敷借請け家作、引越し請作百姓つかまつりたく	ほ53・ほ86
6	文化 9・2	1812	安八郡築捨村	喜三郎	(引越しカ)	ほ87
7	文化 9・7	1812	池田郡西村〔揖斐川町〕	佐兵衛	和田権進様引得屋敷空家買請け、引越し請作百姓つかまつり、作間に大工職つかまつりたく	ほ54・ぬ125
8	文化 9・10	1812	安八郡(中島郡)狐穴村〔羽島市〕(尾張藩領)	卯蔵・女房都合2人	(引越しカ)	ほ88・ほ89
9	文化 9・12	1812	@	奥田健次(松井半兵衛組)	犬ヶ淵村百姓作右衛門引得屋敷空家買請け、引越し住居致したく	ほ179
10	文化 9・2	1812	@	高屋茂太夫(戸田源右衛門家来)	和田権進様引得地空家買請け、引越居住つかまつりたく	ほ180
11	文化10・2	1813	多芸郡大野村〔養老町〕(尾張藩領)	定蔵・女房・子1人都合3人	(引越しカ)	ほ90
12	文化10・6	1813	安八郡下大樽新田〔輪之内町〕(幕領)	甚蔵・子2人都合3人	牧田龍哲殿引得屋敷空家借請け、引越し請作百姓つかまつりたく	ほ55
13	文化10・9	1813	厚見郡高桑村〔岐阜市〕(加納藩)	藤左衛門・女房・子1人都合3人	西久瀬川佐助引得屋敷空家借請け、引越し請作百姓つかまつりたく	ほ56
14	文化10・10	1813	安八郡神戸村〔神戸町〕(尾張藩領)	伊三郎	(引越しカ)	ほ91
15	文化11・4	1814	@	渋谷藤蔵	清水亀太郎殿引得屋敷空家、当分借請け住居	ほ181
16	文化11・6	1814	安八郡福東村〔輪之内町〕(大垣藩領所)	重之助	与三次引得屋敷借請け家作し引越し	ほ125
17	文化11・11	1814	安八郡大森村〔安八町〕(尾張藩領)	菊蔵	(引越しカ)	ほ92
18	文化11・11	1814	多芸郡下笠村〔養老町〕(尾張藩領)	繁蔵	(引越しカ)	ほ93
19	文化12・2	1815	池田郡草深村〔池田町〕(旗本加藤領)	岩蔵	引越し	ほ126
20	文化14・6	1817	安八郡大垣俵町三郎貸家	三四郎	弟定七方へ引越し、一緒に渡世つかまつりたく	ほ57
21	文化14・10	1817	安八郡大垣俵町庄治郎貸家	代八兄弟	兩人病身にて助八由緒あるにつき帰郷渡世つかまつりたく	ほ182
22	文化14・11	1817	安八郡大垣新町宮町浄専寺貸家	喜蔵・子2人都合3人	(引越しカ)	ほ94
23	文政元・5	1818	安八郡大垣新町	医師柳珉・女房・子1人都合3人	(引越しカ)	ほ95
24	文政元・11	1818	安八郡大垣船町正覚寺貸屋	源七・女房・子3人都合5人	彦蔵方由緒あるにつき引越し、一緒に渡世百姓つかまつりたく	ほ58・ほ96・ほ128
25	文政 2・9	1819	安八郡牧村〔安八町〕(尾張藩領)	太八・女房・子2人都合4人	平村吉川広簡引得屋敷空家借請け引越し、請作百姓つかまつりたく	ほ59
26	文政 2・12	1819	多芸郡小倉村〔養老町〕(幕領)	丹次	与三次と由緒あるにつき引越し一緒に百姓つかまつりたく	ほ60・ほ98
27	文政 2・12	1819	安八郡北今ヶ淵村〔安八町〕(尾張藩領)	多四郎・女房・子1人都合3人	(引越しカ)	ほ97
28	文政 4・11	1821	池田郡片山南村〔池田町〕(旗本加藤領)	文三郎・女房・子3人都合5人	引越し	ほ130
29	文政 5・3	1822	大野郡呂久村〔瑞穂市〕	平次	(引越しカ)	ほ99
30	文政 6・11	1823	不破郡笠毛村(尾張藩領)	休内・女房・子2人都合4人	引越し	ほ100・ほ132
31	文政 6・11	1823	多芸郡栗笠村〔養老町〕(尾張藩付家老竹腰氏知行地)	惣兵衛・母都合2人	(引越しカ)	ほ101
32	文政 7・1	1824	安八郡福田新田	園四郎・倅巳吉	中間奉公勤めの処、代助由緒あるにつき引越し同居つかまつりたく	ほ186
33	文政 7・閏8	1824	安八郡平村	伝八	平村吉川広簡引得屋敷空家借請け引越し請作百姓つかまつりたく	ほ61
34	文政 8・4	1825	近江国坂田郡中多羅村〔米原市〕(彦根藩領)	津右衛門・女房・子2人都合4人	引越し	ほ133
35	文政 8・5	1825	石津郡駒野新田〔海津市〕(高須藩領)	平治・女房・子2人都合4人	(引越しカ)	ほ102
36	文政 8・6	1825	安八郡柳瀬村〔神戸町〕	利助(加納宅左衛門組中間奉公)	御台所組上田太兵衛殿引得屋敷空家買請け引越し請作百姓仕つかまつりたく	ほ62・ほ104・ほ134
37	文政 8・6	1825	安八郡長沢村	善弥	(引越しカ)	ほ103
38	文政 8・7	1825	安八郡大垣善教寺前貸家<多芸郡栗笠村〔養老町〕(尾張藩付家老竹腰氏知行地)>	常八・女房・子3人都合5人	西久瀬川佐助引得屋敷空家買請け、引越し請作百姓つかまつりたく	ほ63・ほ105・ほ135
39	文政 8・7	1825	安八郡大垣善教寺前貸家	甚助	引越し	ほ106・ほ138

	年・月	西暦	前住地〔所在地〕(支配)	転入者	転入先・転入理由など	資料番号
40	文政 8・8	1825	安八郡大垣善教寺前貸家 〈本巢郡只越村〔瑞穂市〕(大垣藩預所)〉	周助・女房・子2人都合4人	御台所組上田太兵衛殿引得屋敷借請け家作、引越し請作百姓つかまつりたく	ほ64・ほ107・ほ137
41	文政 8・8	1825	安八郡大垣善教寺前貸家	吉蔵・女房・子2人都合4人	(引越しカ)	ほ108
42	文政 8・8	1825	安八郡大垣善教寺(貸屋)	惣兵衛・女房・子2人都合4人	引越し	ほ136
43	文政 8・9	1825	安八郡大垣善教寺前貸家 〈本巢郡馬場村〔瑞穂市〕(陸奥国磐城平藩領)〉	宇兵衛・女房・子1人都合3人	御台所組上田太兵衛殿引得屋敷空家買請け、引越し請作百姓つかまつりたく	ほ65・ほ109
44	文政 8・9	1825	安八郡大垣善教寺前貸家 〈大野(本巢)郡能郷村〔本巢市〕(旗本徳山領)〉	又四郎・女房・子4人都合6人	御台所組上田太兵衛殿引得屋敷借請け家作、引越し請作百姓つかまつりたく	ほ66・ほ140
45	文政 8	1825	安八郡林本郷村	惣太郎・弟岩吉都合2人	引越し	ほ141
46	文政 9・6	1826	安八郡牧村〔安八町〕(尾張藩領)	市兵衛・女房都合2人	牧村与七引得屋敷空家買請け、引越し請作百姓つかまつりたく	ほ67・ほ142・ほ188
47	文政 9・9	1826	池田郡宮地村〔池田町〕	八百蔵・女房・子2人都合4人	犬ヶ淵村作右衛門引得屋敷空家買請け、引越し請作百姓つかまつりたく	ほ68・ほ111
48	文政 9・11	1826	安八郡高屋村	休蔵・女房・子1人都合3人	弥三郎方由緒あるにつき引越し一緒に渡世百姓つかまつりたく	ほ69・ほ112・ほ143
49	文政 12・5	1829	@	森儀太郎(鈴木主斗様家来)	鈴木主斗様引得屋敷、家作致したく、引越し	ぬ97
50	天保 2・3	1831	@	磯貝藤兵衛(新組)	和田権進殿引得屋敷空家買請け住居致したく	ほ191
51	天保 2・3	1831	@	岩田左平(中嶋十郎右衛門家来)	和田権進殿引得屋敷空家買請け住居致したく	ほ192
52	天保 6・5	1835	@	吹原市三郎(山村定助組)	江州松居久右衛門引得屋敷空家借請け当分住居致したく	ほ193
53	天保 7・12 ~天保8・1	1836	池田郡溝尻村〔揖斐川町〕(尾張藩領・大垣藩領)	宇助(矢部翁助殿組中間奉公)	上田利太夫引得屋敷の空家買請け、奉公勤めながら請作百姓つかまつりたく	ほ70・ほ147
54	天保 13・4	1842	@	崎山多喜平(水野友右衛門組)	六右衛門引得屋敷空家借請け当分住居致したく	ほ194
55	天保 15・10	1844	多芸郡江月村〔養老町〕(尾張藩領)	助蔵(長良百合蔵殿組左官方)	南寺内村勝次方に借屋住居	ほ154
56	天保 15・12	1844	@	井深左右平(新組)	松村松右衛門引得屋敷空家借請け当分住居致したく	ほ195
57	天保 15・12	1844	@	井深権八郎(錦見倉右衛門組)	六右衛門引得屋敷空家借請け当分住居致したく	ほ196
58	嘉永 7・4	1854	安八郡下開発村	左蔵	近年病身にて渡世成り難く、助蔵方由緒あるにて懸り人になり百姓つかまつりたく	ほ72・ほ114
59	安政 4・8	1857	大垣船町武八貸屋	勇蔵	市右衛門由緒あるにつき引越し一緒に渡世つかまつりたく	ほ73
60	安政 5・4	1858	安八郡牧村〔安八町〕(尾張藩領)	栄次郎	兵吉方由緒あるにつき懸り人になり引越し同居、請作百姓つかまつりたく	ほ74・ほ115
61	安政 5・12	1858	@	深貝一郎(戸田治部左衛門家来)	和田権進殿引得屋敷空家買請け住居致したく	ほ197
62	安政 6・2	1859	安八郡大垣竹嶋村森太兵衛貸屋	みえ・子4人都合5人	(引越しカ)	ほ117
63	安政 6・8	1859	安八郡波須村	喜重郎	病気の処、南寺内村方六右衛門方由緒あるにつき小家借受け養生つかまつりたく	ほ159
64	安政 6・8	1859	多芸郡飯田村〔養老町〕(尾張藩領)	義八	病気にて作間染物織にて飯田村より通いは不都合、当分家守として、三八方裏の作物入小屋借受けたく	ほ161
65	安政 6・9	1859	中町	利平妹	病気にて養生のため小屋当分借用	ほ162
66	安政 6・9	1859	南頼村	東庵	南寺内村方喜宝院空家借請け身上手切れにつき当分住居	ほ163
67	安政 6・9	1859	竹島町	庄助	老年にて通い勤めつかまつりたく、清左衛門控小家借請けたく	ほ164
68	安政 6・9	1859	安八郡南波村〔輪之内町〕(大垣藩預所)	鉄治郎	年貢差金差し詰り、城下辺在町へ日雇い働きの処、遠在にて日々通い不都合にて庄助小屋借用・逗留いたしたく	ぬ111
69	万延元・4	1860	羽栗郡本郷村〔羽島市〕(尾張藩領)	栄吉	太助引得屋敷の空家借請け引越し請作百姓つかまつりたく	ほ76・ほ116
70	万延元・4	1860	石津郡高須大工町〔海津市〕(高須藩領)	石屋和吉	忠右衛門由緒あるにつき懸り人になり引越し同居、請作百姓つかまつりたく	ほ77・ほ118・ほ199
71	文久 2・11	1862	羽栗郡笠松村〔笠松町〕(幕府領)	安兵衛・母・女房都合3人	加兵衛引得屋敷の空家買請け引越し請作百姓つかまつりたく	ほ119・ほ200
72	元治 2・2	1865	安八郡墨俣村(尾張藩領)	金三郎・女房・子6人都合8人	加兵衛引得屋敷の空家借請け引越し請作百姓つかまつりたく	ほ80・ほ120・ほ201
73	慶応 4・閏4	1868	安八郡大垣田町善教寺貸屋 御伝馬長屋	岩吉・女房・子4人都合6人	(引越しカ)	ほ121
74	慶応 4・7	1868	安八郡北方村(旗本名取領)	善三郎・父・女房都合3人	伝吉由緒あるにつき懸り人になり引越し同居、請作百姓つかまつりたく	ほ83・ほ122・ほ203
75	明治元・10	1868	安八郡大垣船町時太郎貸屋	仙助・女房都合2人	身上不如意にて太助方由緒あるにつき懸り人になり同居つかまつりたく	ほ170・ほ171・ぬ122
76	明治 3・8	1870	中嶋郡新井村〔羽島市〕(幕府領・旗本別所領)	半助	名主加兵衛由緒あるにつき懸りに遣わし	ほ85

※美濃国安八郡浅草東村大橋家文書内の安八郡南寺内村文書より作成。地名は、基本的に史料通りの表記とした。前住地〔所在地〕(支配)で、所在地が大垣市、支配が大垣藩領の場合は省略した。前住地が貸屋で、さらに前の居住地が確認できた場合は、記載した。前住地の記載が無い場合は@とした。

## 交流コラム～現場から～

### 《岐阜県歴史資料保存協会から》

岐阜県歴史資料保存協会は、岐阜県下の歴史資料、特に文書資料の調査・保存・活用及び県市町村史編集事業の充実のため、会員相互の連絡、提携を図るとともに、岐阜県歴史資料館と協調することを目的として、県内の42市町村すべてが会員となっています。また、本会の主旨に賛同をいただいた個人及び企業等約270人の方々に会員となっており、現在、総会員数は310名余りです。



平成25年度の古文書読解講習会の様子

本会は、春季に「総会・講演会」、夏季に県内各地域で「岐阜県古文書読解講習会」を、秋季には「各地区研修会」と「歴史資料保存利用講習会」を開催しています。また、年に2・3回、会誌である『濃飛史艸』を発行しています。本年度の「古文書読解講習会」は岐阜県の事業として本協会が県の委託を受けて実施しました。入門・初級講座を高山・美濃加茂・岐阜・大垣で、また、中級講座を大垣と岐阜で開催しました。全体で延べ950人以上の方に受講していただきました。講師の先生方には、県内の各地域に関わる歴史資料をとりあげていただき、好評をいただきました。地域科学部地域資料・情報センターの中尾喜代美さんにも講師をお勤めいただきました。この秋に実施する「各地区研修会」と「歴史資料保存利用講習会」については、岐阜県歴史資料館のホームページ等に掲載しますので、奮ってご参加ください。また、本会の会員を募集しています。詳細は、同ホームページをご覧ください。

(問い合わせ先 岐阜市夕陽ヶ丘4 岐阜県歴史資料館内 岐阜県歴史資料保存協会 TEL 058-263-6678)

※「交流コラム～現場から～」では、岐阜県に関わる史料の編纂・保存事業や史料展示などの情報を掲載していきます。皆様からの情報をお待ちしています。

### 編集後記

本号では、長良川河口堰関係資料（現代）・岐阜市内創刊の新聞号外（近代）・安八郡南寺内村への転居に関する史料（近世）など、様々な時代の史料紹介が出来ました。これからも着実に史料整理を進めていきたいと考えております。その成果の一つとして、この夏、郷土博物館所蔵の絵図の一部が、岐阜市歴史博物館で展示されました（「古地図にみる江戸時代の美濃」）。より多くの方々に活用していただけるよう、さらに努力していきたいと思っております。今回は、大垣市の江馬斉一郎さん、岐阜県歴史資料館、岐阜県歴史資料保存協会の方々からご協力を賜りました。皆様、本当にありがとうございました。（中尾喜代美）

岐阜大学 地域科学部 地域資料・情報センター 地域史料通信 第5号

発行日 2013年10月31日 年1回刊行（予定）

編集・発行 岐阜大学 地域科学部 地域資料・情報センター

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1 Tel (058)293-2312 または 3323

Fax (058)293-3324 <http://rilc.forest.gifu-u.ac.jp/> E-mail : [archives@gifu-u.ac.jp](mailto:archives@gifu-u.ac.jp)